

主権者教育だより vol.13 (平成30年6月)

◆お知らせ◆

○平成29年度「主権者教育」普及実践事業の実施結果を公表しました

平成29年度に全国の7団体で実施した「主権者教育」普及実践事業の採択事業概要を下記HPに公開しました。長期的な計画の策定やまちづくりを題材とした主権者としての意識の向上を図る取組などを採択しました。事業の詳細は、リンクしている各自治体のHP等をご覧ください。同様の事業を実施する際に具体的なアドバイスが必要な場合は、実施団体へお問い合わせください。なお、今年度は「主権者教育」優良事例普及推進事業を募集していますので、お気軽に総務省へお問い合わせ下さい。

http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/shukenshakyoi/index.html

○副教材「私たちが拓く日本の未来」を送付しました

平成30年6月中旬、総務省及び文部科学省から全国の高校1年生を対象に副教材「私たちが拓く日本の未来」を送付しました。今回は、平成29年の公選法改正による定数の変更や第48回衆議院議員総選挙の投票率を反映しました。

http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/senkyo/senkyo_nenrei/01.html



○「子ども霞が関見学デー」に総務省選挙部も出展します

「子ども霞が関見学デー」は、各府省庁の見学等を行いながら、親子の触れ合いを深めるとともに、各府省庁の施策に対する理解を深めてもらうことを目的とした取組です。今年度は、8月1日(水)、2日(木)に開催されます。

総務省選挙部では、本物の投票用紙・投票記載台・投票箱を使った総務省の人気NO.1キャラクターを決める模擬選挙を実施するほか、選挙事務で使用される機器を操作して、楽しみながら選挙の仕事を学んでもらうイベントを計画しています。ぜひ、ご興味のある方にお声がけください。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kengaku/



○成年年齢の引き下げに関連した主権者教育の取組について

平成30年6月13日、民法の一部を改正する法律が成立し、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることとなりました(平成34年4月1日施行)。

成年年齢の引下げに向けた環境整備に関する関係府省庁の連絡会議に出された工程表においては、総務省・文科省は若者の社会形成への参画支援の施策として「主権者教育」を引き続き実施していくこととされています。

なお、必要に応じて、消費者関係施策などについても、主権者教育のテーマ設定の参考としていただければと思います。

<http://www.moj.go.jp/shingi1/shingi04900355.html>

○主権者教育アドバイザー派遣制度の取組事例を紹介します

実施団体：福島県 実施日：平成30年5月7日(月) 参加人数：91名
アドバイザー：藤井剛氏 対象：県立高等学校の教員

福島県では、「主権者教育推進コーディネーター養成研修会」と題し、県立高校の公民科教員を対象に模擬授業や他県の高校における主権者教育の事例紹介等が実施されました。実施後のアンケートにおいて、「参考になった」との回答が98%であったほか、「特定の教科だけでなく、学校全体で取り組むためのヒントを得た」等の感想が寄せられました。

この派遣事業は、引き続き募集していますので、ぜひご活用ください。

◆紹介◆

○情報誌「Voters (No.44)」を発行しました【明るい選挙推進協会】

情報誌Voters (No.44)を発行しました。

今号の特集は、「子どもの社会参画」です。子ども・若者の社会参画に関する国内外の取組事例や主権者教育とのつながりについて、千葉大学の木下勇教授や宮崎大学の吉村功太郎教授など4名の方に執筆いただきました。ぜひご覧ください。

○地域コミュニティフォーラム(九州ブロック)を開催します【明るい選挙推進協会】

7月26日(木)、27日(金)に、サンフラワー宮崎(宮崎県宮崎市)において、地域コミュニティフォーラム(九州ブロック)を開催します。

今回のフォーラムでは、宮崎公立大学の有馬晋作学長の講演や、優良活動表彰団体による事例発表、参加者による意見交換などを予定しています。

九州ブロックの皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

問合せ：(公財)明るい選挙推進協会
(TEL:03-6380-9891)

○市の若手職員と地元大学生がコラボして選挙啓発【福井県越前市】

越前市では、平成30年7月8日に執行される越前市議会議員選挙に向け、地元を盛り上げるために市役所の若手職員で結成されたGMT(じもと)隊と地元の大学である仁愛大学の学生が、選挙を盛り上げるための様々な啓発活動を行っています。

このグループは、若い世代の投票率向上をめざし、「選挙を若者で占拠しよう」や「投票箱ってソウくらいデカイらしい」などの大胆なキャッチフレーズをつけたポスターや投票に来た若者に写真を撮って拡散してもらおうとインスタ風パネルを制作しました。



啓発活動を行ったGMT(じもと)隊と仁愛大学コミュニケーション学科の学生

↓啓発活動の検討風景



↑市選挙管理委員会への贈呈式

今後は市内の高校、企業、ショッピングセンターにポスターの掲示を依頼したり、大学での啓発活動をする予定です。また、期日前投票では選挙スタッフボランティアとして、選挙事務やインスタ風パネルの写真撮影の補助を行います。

連絡先：越前市選挙管理委員会
(TEL:0778-22-3013)

◆その他◆

○主権者教育だよりへの情報掲載について

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選挙などの取組を広く情報発信しています。自分たちの取組やイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限りお応えしますので、ぜひご連絡ください。なお、配信は毎月末を予定しています。

○主権者教育だよりメーリングリストへの追加と主権者教育相談窓口

主権者教育だよりメーリングリストへの追加を随時募集しています。他部局や市町村等へ直接配信の希望があればご連絡ください。また、高校生向けに出前授業をしたい、親子向けのセミナーを開催したい、でも、どうやればいいのか?どんな支援メニューがあるの?などの疑問があればお気軽に啓発係にお問い合わせください。先進事例の紹介や総務省の支援制度の紹介など、がんばる皆様の手助けになるような情報提供を行っていきます。